

7月臨時教育委員会会議録

- 1 日程 平成27年7月29日(水)
- 2 場所 藤井寺市立生涯学習センター 3階 視聴覚室
- 3 案件
○ 会議録署名委員の指定について

(1) 審議事項

審議第1号 教科用図書採択について

- 4 出席者
委員長 藤本 英生
委員長職務代理者 杉本 優子
委員 糸野 聡史
委員 福村 尚子
教育長 多田 実
- 5 事務局出席者 教育部長(教科用図書選定委員長)、教育部理事(教科用図書選定副委員長)、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課参事、学校教育課課長代理、学校教育課主幹、
- 6 書記 教育総務課主事補

午前10時 委員会開会を宣して日程に入る。

○委員長

みなさま方、おはようございます。只今から、臨時教育委員会会議を開会いたします。

本日の臨時教育委員会の案件は、「平成28年度使用の小学校教科用図書の採択」及び「平成28年度使用の中学校教科用図書の採択」となっております。内容に入る前に、本日の会議録署名委員は、杉本委員にお願い致します。どうぞよろしく願います。

まず最初に、平成28年度の小学校教科用図書の採択を行います。小学校教科用図書の採択については、文部科学省通知「平成28年度使用教科書の採択について」に基づき、「今年度と同様のものを採択すること」となっております。藤井寺市におきましても、「平成28年度は今年度と同様のものを採択すること」ということでよろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

それでは、小学校においては「平成28年度は今年度と同様のものを採択すること」にいたします。

つづきまして、「平成 28 年度使用の中学校教科用図書の採択」を行います。

それでは委員の先生方には、選定委員会の答申を踏まえながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の生徒にとって最適な教科書を採択するために、幅広い論議をお願い致します。

去る 7 月 17 日に藤井寺市立中学校教科用図書選定委員会の答申を受けました。答申にもありましたように、藤井寺市が採択する教科用図書の候補として種目毎に、数社を推薦していただきました。

委員の先生方におかれましては答申内容についてご検討を頂いたと思いますが、本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

それでは、審議に移ります。

国語科の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

それでは、国語科の採択候補図書 5 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がございます。人権の取扱いでは、社会への理解が深まるよう、平和、人権環境問題・障がい者理解など環境・科学技術・平和・現代社会など、さまざまなテーマの文章を掲載し人権意識への配慮がなされています。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、「人権の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。創意工夫では、書く教材の最後についている「学びの窓」をワークシート的な形式にして、何をポイントとして抑えればよいのか、わかりやすく示し、狙いが明確になるよう工夫されています。

次に三省堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされ、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」に特色がみられます。内容の取扱いでは、巻頭の「領域別教材一覧」で付きたい力を明らかにし「話す」「聞く」「書く」に重点を置いて、確かな言葉の力を付けるための教材が取り扱われ、言語学習に十分配慮されています。このような意見から、選定委員会は三省堂を推薦しております。

次に教育出版でございますが、各項目に配慮がなされ、創意工夫に特色がございます。各教材の締めくくりに「みちしるべ」として、学習内容の確認や今後の見立てができるよう工夫されています。

最後に光村図書でございますが、この教科書もあらゆる項目に配慮がなされ、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」「発展的補充的学習」に特色がみられます。内容の取扱いでは、発達段階・学習の習熟度・目的・必然性を考慮し、多様な言語活動を系統的に位置付けられるよう配慮されています。このような意見から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

以上でございます。

○委員長

それでは、委員の先生方、国語科の審議をお願いします。

○委員

よろしいでしょうか。すべての会社の教科書を見させていただきましたが、国語科は内容も多岐にわたっています。昨今、国語の活用力・読解力が大事になってきていますが、何をポイントに採択するのか、選定委員会で、どのような意見が出たのか教えていただけませんか。

○選定副委員長

選定委員会で出た意見について、説明させていただきます。

国語科についてでございますが、国語科の目標は、国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにすること、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てること、でございます。

委員のご質問にありましたように、選定委員会の中でも「活用力」「読解力」を育むための工夫・配慮について意見が交わされました。また学習意欲に関わり、見やすさあるいは学習目標の設定のありかた、学習の見通しをはじめ、特に主体的な言語活動への取扱い等については様々な意見が交わされたところでございます。

以上でございます。

○委員

どの教科書も巻頭に領域別学習教材一覧があり、各教科の目標がはっきり示され、見通しが持てるよう工夫されています。

東京書籍では、1年生の9ページから16ページにあるように、「言葉の力を探しに行こう」という目標のもとで、広い視野をもち、社会性を養えるよう配慮されていると思います。

○教育長

見通しをもって学習できる工夫であれば、三省堂も1年生の巻頭の6ページをご覧ください。「領域別教材一覧」でつけたい力を明らかにし「話す」「聞く」「書く」に重点を置いて、確かな言葉の力をつけさせるための教材が取り扱われ、言語学習に十分配慮されていると思います。

○委員

「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」などの国語力の育成において必要な点は、子どもの学習意欲の向上・学習の定着の把握だと考えます。その点では、光村図書1年生の228ページのように「学習の窓」を設けて、単元のポイントをまとめ理解できるよう工夫されていることは、わかりやすく子どもたちにとっても理解しやすいのではないのでしょうか。

○委員

私も、学習の定着が把握できる点や子どもの学習意欲向上の点で、光村図書が優れていると思います。例えば、1年生の教科書の18ページを開けてください。「声を届ける・書きとめる・調べる」などを学習のやり方を最初に示し、物語文・説明文の教材の間に設けられた題材が、何を目的としているかがわかりやすく表記されており工夫されていると思います。

○委員長

学習の定着や学習意欲の向上とは、少し異なる観点で意見を申し上げさせていただきます。三省堂では、1年82ページの「食感のオノマトペ」や、174ページの手塚治虫の「この小さな地球の上で」、そして240ページの落語の「桃太郎」など、内容が子どもたちの興味・関心を引くものだと思います。教材が厳選されており、学年に応じた教材として取り上げられていると思います。特に「食感のオノマトペ」では、高い語彙力が養われると感じます。

○委員

私は、三省堂の最後の「資料編」というところが非常に工夫されていると思います。現在の社会への理解という点で、1年生の234ページ、情報探しのヒントとして、社会の変容に合わせ、今の子どもたちに合ったIT世代のニーズに対応できるよう配慮されています。これは、1年から3年までほぼ同じものが掲載されています。また、読書への導入という点で、同じく「資料編」で読書紹介があります。1年生の228ページですが、読書紹介をするだけでなく、読書ガイダンスを取り入れています。テーマに応じて掲載されているので、子どもたちの読書意欲が引き出されると思います。私も何冊か読みたいと思いました。こういった点で、三省堂は非常に工夫されていると思います。

○教育長

私も本編だけでなく、三省堂の「資料編」は実践的・発展的学習に役立つと思います。1年生の260ページで、子どもが考えるとき、表現するときなどに使えるようにマトリックスなどを紹介し、268ページでは具体的な話し合いの方法などが掲載され、学んだことを実践的に生かせる力が身に付くと思います。表現力の育成がこれからの課題になると思いますが、三省堂の「資料編」はその点に効果的であり、他教科や特別活動、総合的な学習にも生かせると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。そのうえで、私は、藤井寺市にふさわしい教科書を採択するにあたって、国語科においては、言語活動を軸に学習内容が組み込まれていることや学習のねらいが明確で、子どもたちにとってわかりやすいことが大切であると思います。また、主体的に発展的学習に取り組めることも重要であるというのが主な意見だったと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

三省堂 3 名、光村図書 2 名 挙手

○委員長

三省堂が 3 名挙手されていますので、採決の結果、国語科は、株式会社 三省堂を採択いたします。

よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、書写の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

書写の採択候補図書 5 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされ、特に「人権の取扱い」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。その中でも人権の取扱いでは、書写の内容に防災訓練などの地域行事を題材とした案内状や防災マップの書き方などの活動例を掲載しています。地域とのかかわりを大切にし、公共の精神を育て、社会参画意識を高めるように配慮されています。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされ、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。その中でも、創意工夫の点で他社との違いで顕著なものは、手本が半紙原寸大になっており、子どもたちにとって見やすいものとなるよう工夫されています。

次に三省堂でございますが、各項目に配慮がなされ、特に「人権の取扱い」に特色がみられます。見開きのページではほぼ男女のキャラクターが均等に掲載されています。また、見え方の差の少ない青を採用し、男女共生やユニバーサルデザインといった人権的配慮もなされています。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされ、特に「内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。中でも創意工夫では、文字の変遷についてわかりやすく掲載されており、ひらがなやカタカナのなりたちについて理解しやすく配慮されています。このような意見から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

最後に光村図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされ、特に「目標・内容の取扱い」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がみられます。その中でも、文

字を書く際の姿勢や筆記具の持ち方等が、子どもによくわかるよう十分配慮がなされており、また、硬筆や毛筆で学習したことを生活に生かせるような配慮もなされており、このような意見から、選定委員会は光村図書を推薦しております。以上です。

○委員長

それでは、委員の先生方、書写の審議をお願いします。

○委員

書くことの基本の観点では、すべての教科書において掲載されています。例えば、教育出版の巻頭では、目的に応じた筆記用具の選び方や書き表し方が掲載され、小学校からの復習や基本的知識を確認できるよう配慮されていると思います。また、次のページに見開きで姿勢と用具の使い方について掲載されていますが、とても見やすく基本をしっかりと押さえる工夫がされていると思います。

○委員長

そうですね。書写で正しく字を書くためには姿勢や筆や鉛筆の持ち方が大切なので、各社とも写真やイラストで分かりやすく掲載していると思います。

○教育長

内容の取扱いでは三省堂がよく工夫されていると思います。巻末には楷書と行書が対比して掲載されています。また、15 ページには、筆順の原則と意義が掲載されています。文字を適切に正しく書くには、やはり筆順が一番基本になると思います。そういった意味で、こういう筆順ですとか、またその上に、間違いやすい、例えば「口」や「回」という字の終筆の注意、あり方などが掲載されており、そういった点で三省堂がいいのではないかと思います。

○委員

行書と楷書の対比でいえば、光村図書も東京書籍も巻末に掲載されています。

○教育長

おっしゃる通りです。三省堂がよく工夫されていると思う点はもう一点ありまして、各単元初めに「考えよう」という項目があます。文字というのは、ただ見て美しく書くというだけではなく、はじめに十分内容を考えて書くという部分も必要だと思います。そういった意味で、学習課題「考えよう」という掲示がしてあるのは、望ましい部分ではないかと思います。

○委員

私は、光村図書が、文字を書くことの基本を大切にしている点で優れていると思います。例えば6 ページ、点画ごとに具体的に注意点を提示することによって、子どもが、一画一画丁寧に文字を書くことができるように工夫がされていると思います。また、点画のつながり、筆運びや筆圧の強弱が色の濃淡で視覚的にわかるように工夫されている点も良いと思います。

○委員長

文字を書くときの基本という点では、光村図書の14ページに文字を書くときのポイントや筆の運びが朱書きされています。また、42ページの行書でも同じように仮名の特徴を確かめながら丁寧に書けるよう配慮がされていると思います。

○委員

私も光村図書が優れていると思います。60ページから67ページでは、「日常の書式」が設定されており、身に付けた書写力を日常生活に生かせるような配慮がなされていると思います。中でも、66ページの送り状の書き方や願書の書き方など丁寧に表記され、生活に生かすための必要な力が身に付くように工夫されていると思います。

○委員長

他にご意見はありませんか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、書写では、正しい姿勢、正しい筆や鉛筆の持ち方などの、基本がしっかりと身に付いていることが大切であると思います。そう考えていくと、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方が大きな写真で表され、筆の運びや強さや注意点もわかりやすく説明され、日常で書くことの向上が目的である書写では、より生活に則した内容が掲載されている教科書が、一番だと思います。5社とも十分に配慮され、優れていると思いますが、藤井寺市の子どもに、基本をしっかりと身に付けさせ、日常で身に付けた技能を使えるようになることが大切だというのが主な意見だったと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

三省堂1名、光村図書4名 挙手

○委員長

光村図書が4名挙手されていますので、採決の結果、書写は、光村図書出版株式会社を採択いたします。

よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、社会科地理分野の教科用図書採択を行います。
採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会科地理分野の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「組織・配列」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。その中でも、資料的価値があるページが多く、生徒の興味・関心を高めたり、主体的に学習に取り組み、理解を深めることができるように十分配慮されております。また、各節の最後に「深めよう」を設け、発展的な学習、補足的な学習が行えるよう十分配慮されております。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、地図や図表・索引等は分かりやすさを心がけ、いろいろな場面の写真が効果的に配置されており、生徒が学習しやすいように工夫されております。

次に、帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。その中でも、地理的分野の考察をきちんと踏まえて適切に記述されています。また、掲載されている地図は、学習理解の手立てとなるよう、分かりやすさ、使いやすさに十分配慮されております。さらに、「トライアル地図」の配置により、発展的な学習、補足的な学習ができるよう十分配慮されております。このような意見から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

最後に、日本文教出版ですが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。その中でも、人権について特に掘り下げて学べるように「自由研究」の項目を設定したり、「地理+α」「確認・活用」等の配置により、発展的な学習、補足的な学習ができるよう十分に配慮されております。このような意見から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

以上、社会科地理分野4社についての説明とさせていただきます。以上です。

○委員長

それでは、委員の先生方、地理の審議をお願いします。

○教育長

選定委員長の説明にもありましたが、帝国書院は学習理解の手立てとなるよう丁寧で分かりやすい記述がなされ、分かりやすさ、使いやすさに十分配慮されていると思います。例えば、15ページの「技能をみがく」(写真の読み取り方①)では大きな写真を使って、注目すべき点を線で囲み、写真を読み取る時は、「こういった所に注目するんですよ」と、学習理解の手立てとなるよう、分かりやすく示しています。また、巻頭の目次の3ページ目のⅢにあるように、各学習の場面での学習の仕方の説明がシンプルで分かりやすいと思います。

○委員

私も、帝国書院の教科書が分かりやすいなと感じました。例えば、「共生」「環境」「防災」のテーマごとに書かれたコラムでは、世界や日本の今日的な課題にどう取り組んでいるかが紹介されており、生徒たちに「将来何をしていくべきなのか」を考えさせることにつながるのではないかと思います。また、148・149ページの「トリアル地理」は、日本で起こる自然災害と防災に取り組む活動が、具体的で大変分かりやすいと感じました。学習した内容を使って、実際に活用してみる経験は、生徒の学習意欲の向上に大いに役立つと思います。

○委員長

私は、東京書籍の教科書がいいと思います。各節の終わりにある「深めよう」では生徒の関心を高めたり、理解を深めることができるように配慮されていると感じました。例えば59ページ「深めよう」ではアジアの文化交流についての一例が取上げられており、その他の文化交流について「トライ」を活用して学習を発展させていくことができます。また、71ページも同様に「深めよう」で、ヨーロッパの環境に対する取組みの一例を取り上げ、世界の他の地域の取組みや、日本の取組みに学習を発展させていく流れを作っています。このように、深めてトライという自然な流れで生徒が発展的な学習へと取り組んでいくことができるよう配慮がなされており、記載されている内容は、資料的にも価値のある教科書であると感じました。

○委員

資料という点で見ると、日本文教出版の117ページには排他的経済水域の資料があり、中国も記載されています。中国が記載されているのは、教育出版とこの日本文教出版だけです。こういった資料は、客観的な情報として、子どもたちに知らせることが必要ではないかと、私は思います。また、日本文教出版の145ページには、東日本大震災のときの「釜石の奇跡」のことが写真入りで記載されています。他社にも掲載されていますが、当日の様子をとらえた写真があり、生徒にとって中学生にできることを学ぶ意欲を高める工夫だと思います。

○委員

私は、帝国書院の教科書は写真が鮮明で、大きく分かりやすいなと感じました。例えば巻頭、巻末の写真も授業の中で活用できる内容であると思います。また、170ページに掲載されている地図も、黄色を基調とした鮮やかな色合いで、見やすいと思います。

○委員長

確かに帝国書院の教科書は見やすいと私も感じました。ただ、東京書籍の115ページからの「世界のさまざまな地域の調査」では地域調査の手順を「韓国」を例に挙げて、分かりやすく説明しており、生徒の発展学習のサポートになると思いました。また、随所に「地理にアクセス」という豆知識的記載があり、この部分も資料的な価値がある上に、生徒の発展学習のサポートになると感じました。

○委員

地域に密着している点で、私は、日本文教出版を推薦します。巻末に、暫定リスト掲載遺産として、「百舌鳥・古市古墳群」が載っています。また、200 ページには日本で最も高いビルとして、「あべのハルカス」も載っており、藤井寺市に住んでいて小学校で世界遺産学習を学んだ生徒にとっては、郷土を愛する心を育む教育の推進になるのではないかと思います。このように生活に関連した写真が載っていることは、生徒の興味・関心を高める上で重要なポイントではないかと考えます。

○教育長

私は、地理の学習では写真、表、グラフ等の資料が見やすく、それらを適切に選択・活用して、多面的・多角的に考え、表現することが大切だと考えています。そう考えると、帝国書院は、写真やグラフが見やすく、生徒にとって出会いのインパクトがあるというふうに考えます。どの教科書にもある、「地図の使い方」を学ぶページを見てみると、例えば等高線を学ぶ場面では、帝国書院は 140 ページに大きな図を使って、とても分かりやすく示しています。また、141 ページの「地形図の使い方」では地形図とその場所の写真を上下に配置し、分かりやすく見せる工夫がなされています。グラフで言えば、帝国書院の 143 ページの「日本の気候区分」の表が日本地図の色分けと同じになっており、位置だけでなく、色からも判断できるように、分かりやすく作られています。このように、必要な物を的確に示している帝国書院の教科書を、私は推したいと思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、地理分野においては、地理の学習では写真、表、グラフ等の資料を適切に選択・活用して、多面的・多角的に考え、表現することが大切であり、そのためには、学習理解の手立てとなる写真、表、グラフ等の資料が分かりやすく示されていることが大切であるというのが主な意見だったと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

東京書籍 1 名、帝国書院 3 名、日本文教出版 1 名 挙手

○委員長

帝国書院が 3 名挙手されていますので、採決の結果、社会科地理分野は、帝国書院株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、地図の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

地図の採択候補図書2社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「組織・配列（分量）」「創意工夫」に特色があります。例えば、社会科の学習内容に合った資料を選定し、教科書と合わせて効果的に活用できるような内容が十分配慮されています。また、適切に目標や内容が押えられるよう配慮され、生徒個人が発展的に学習しようとした場合でも、十分に耐えうるように配慮されています。さらに、地図としての本来の機能を満たしたうえで、便利な機能をつけるなど、適切に工夫されています。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「組織・配列（分量）」「創意工夫」「発展的な学習・補足的な学習」に特色があります。例えば、学習指導を効果的に進め、調べ方や、学び方を身に付けることができるように適切に配慮されています。また、コンパクトに目標や内容が押えられるよう配慮されています。さらに、地域の地図だけではなく、主題学習のために役に立つ地図が随所に配置され、発展的な学習が行えるように配慮されています。このような意見から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

地図の2社について説明は、以上です。

○委員長

それでは、委員の先生方、地図の審議をお願いします。

○委員

まず、帝国書院の31・32ページの「東アジアと日本」では中国（大陸）から見た日本列島（太平洋）の地図があり、昔の航路や陸路が示されており、歴史の学習でも使える斬新な地図だと思います。この地図の表現の仕方は、生徒たちの関心・意欲を高める効果があると思います。

○委員長

私も、地図を使った学習は、いろいろな教科学習の中で使うといった観点も大切だと思います。歴史学習という点で言えば、帝国書院の30ページの朝鮮半島の地図は、「白村江の戦い（663年）」や「日本海海戦（1905年）」等、重要な歴史上の戦いのあった年号が書かれており、他にも歴史的な事項には年号が書かれているものがあり、確かに歴史の学習でも大いに活用できると思いました。

○教育長

東京書籍の7・8ページと帝国書院の9・10ページを見ると、同じ世界の地形を表したページですが、帝国書院の地図は色が鮮やかで、文字も見やすいと思います。

帝国書院の地図には、ユーラシア大陸やアフリカ大陸等、大陸の呼び名も記載されているのが良いと思います。

また、東京書籍 37・38 ページと帝国書院の 51・52 ページには同じ「ヨーロッパ州の資料図」がありますが、やはり帝国書院の方が必要な情報を端的に表していて、分かりやすいと思います。

○委員

日本の領土については、東京書籍で 182・183 ページ、帝国書院で 175・176 ページにありますが、東京書籍はまとめて記載されていて、分かりやすいと思います。ただ、日本の排他的経済水域の線が、海流の線と同じ所にあって見にくいですね。133 ページにも海流を示した、気候に関する資料がありますので、ここで海流を示す必要はなかったのではないかなと思います。

○委員

帝国書院には「やってみよう」というそのページで何を学ぶかを示した部分があります。例えば、33・34 ページでは、ただ単に地図を見るだけでなく、「やってみよう」の指示に従って、指でなぞっていくと、タンカーがマラッカ海峡を通過して、石油を運んでくる船の航路になっており、学習と生活とのつながりが深まるのではないかなと思います。

また、帝国書院の 15・16 ページと東京書籍の 15・16 ページには「世界の生活・文化」が掲載されていますが、帝国書院には食事とともに、それを食べる人々の写真が掲載されており、これは生徒が文化を理解する上で大切な要素ではないかなと思います。

○委員

東京書籍の「ジャンプ」はいいと思います。例えば、105 ページの左上の「①愛知県の自動車工業」には関連資料の 147・148 ページへ「ジャンプ」するように指示があり、生徒が自分で学習を進めていくことができる工夫がなされているのではないかなと思います。

○委員

近畿地方に関するページ数がどうかということですが、帝国書院が 10 ページに対し、東京書籍が 8 ページで帝国書院の方が多いです。また、帝国書院の大阪の載っている地図には、全てに「藤井寺」の記載がございます。さらに、98 ページには藤井寺市の「葛井寺」が載っている点もうれしいところです。生徒としても、地図を見ながら自分の住んでいる場所を探すということは、自然な心理だと思います。その点も推薦する理由の一つです。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。地図においては、いろいろな教科

や学習の中で使うといった観点も大切であり、必要な情報を端的に表して、分かりやすいことも大切ですし、その地図で何を学ぶかがはっきりしていることも大切であるというのが主な意見だったと思います。それに加えて、やはり、「藤井寺市」に関する記述が多いというのも大切な意見だと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

帝国書院 5 名 挙手

○委員長

帝国書院が 5 名挙手されていますので、採決の結果、地図は、帝国書院株式会社を採択いたします。

よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、社会科歴史分野の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会科歴史分野の採択候補図書 8 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスのよい配慮がなされており、特に「内容の程度」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。その中でも、「深めよう」「私たち歴史探検隊」「この時代の特色をとらえよう」「歴史にアクセス」など様々なコーナーがあり、興味・関心に応じて学習できるよう工夫されています。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、わが国の歴史と世界の動きを関連付け、大きな流れでとらえる工夫がされています。このような意見から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

次に清水書院でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」に特色がございます。その中でも世界史や、文化史に関する記述が詳しく、地図や写真などが大きく記載されております。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、挿し絵・写真・図表に視覚的な工夫があり、学習課題に関わる図版が大きく配置され学習課題が明確に示されております。また、「タイムトラベル」のコーナーでは当時の暮らしを中心にした歴史

絵本のような見開きのページがあり、生徒の興味を引く工夫がなされています。このような意見から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。各時代ごとに民衆の暮らしに視点をあて、生活の向上や文化の発展に取り組んだ先人の姿を取り扱っております。また、各編や章末のまとめとして「学習の活用」が掲載され、年表、表やグラフなどを活用し時代の流れや特色をとらえ、整理がしやすいよう工夫されています。このような意見から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

次に自由社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色がございます。中でも、コラムを設け、テーマに応じて、意見を出し合い主体的な活動ができるように工夫されています。

次に育鵬社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。「歴史ズームイン」では、「江戸時代探検」「浮世絵の影響」「戦争の体験の聞き取り」の記述等があり、発展的な学習ができるよう工夫されています。

最後にもう1社、学び舎ですが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。教科書の大きさが他社に比べ大きく、その分、図版、資料が大きく見やすいものとなっております。

以上、社会科歴史分野、8社について説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、社会科歴史分野の審議をお願いします。

○委員

ご説明ありがとうございます。審議に入る前に、選定委員会でどんな点が議論の柱になっていたのか教えていただけますでしょうか。

○選定副委員長

社会科歴史分野でございますが、生徒がその時代ごとの歴史事象を体系的に捉え、日本とアジアや世界との関連性を認識し、学習内容を理解していくことが大切です。そういった視点のもと、年表資料の取扱いが非常に重要であるというような議論が交わされました。また、歴史への興味・関心を高める手立てとしての工夫、配慮についても様々な意見が交わされたところでございます。

○教育長

先ほどの話でもありましたように、社会科では写真や年表などの資料が重要です。日本文教出版はその点が工夫されていると思います。例えば、日本文教出版の106ページ、107ページをご覧ください。長篠の合戦の屏風絵が見開きで非常に大きく掲載されております。これだけの迫力ある大きな図版は、子どもたちの興味や関心を引き出し、探求心も育てるきっかけになるはずです。また、教科書全体として本文と資料がリンクしているので、子どもの学習が深まると思います。

○委員

私も年表や写真などの資料が重要だと思います。その点では、帝国書院も工夫されていると思います。各章の初め、例えば 20 ページ、30 ページ、50 ページ等に「タイムトラベル」というコーナーがあり、見開きで大きな図版を掲載し、図版に描かれている風景から、その時代の特徴を捉えることができ、学習をはじめる前に、その時代のイメージをしっかりと持つことができるようになっています。この点で、私は、帝国書院がよいと思います。

○委員

確かに名前の挙がっている 2 社の教科書は私もよく工夫されているなどと思います。ただ、年表が見やすいという点では東京書籍も、配慮がなされていると思います。各ページの見開きの左下に、年表を配置し、時代の流れを捉えやすいように工夫されているので、子ども達にとっては学習しやすいのではないかと思います。

○委員

観点は変わりますが、学習のまとめと振り返りをどのように工夫されているかも重要だと思います。そこでこの点について各社の教科書を見ますと、全社、取り上げてはいますが、日本文教出版は、各章の終わりに、それぞれに時代のまとめとして、「学習の活用」というコーナーがあり、各時代の重要項目をわかりやすくまとめています。日本文教出版社の 144 ページをご覧ください。年表を用いた学習が必ず含まれているため、歴史を体系的に捉えていくことができます。子どもたちがそれまで学習してきた内容を改めて整理し、理解できるような配慮がなされていると私は感じました。

○委員

帝国書院も学習のまとめをわかりやすく整理しております。48 ページをご覧ください。そのまま問題集としても使えるように整理されていますし、世界の動きと日本の関連についても年表や地図などを掲載し、理解を助けるように工夫がなされています。

○委員長

私は、授業の導入が大切だと思います。いかに興味・関心を持ちながら単元のめあてを確認し、見通しを持って授業に臨むかが、大切なポイントになると思います。この点についても、各社の教科書を見ますと、全社取り上げてはいますが、教育出版は、その中でも単元名のタイトルに工夫がなされており、それが学習のめあてを理解する助けとなっていると私は思います。例えば、162 ページでは、殖産興業と文明開化に関する単元となっておりますが、この単元名のタイトルは「ザン切り頭をたたいてみれば」となっています。この一文の続きを考えることで明治維新後、西洋化が人々の生活にどのような影響をもたらしたのか学習課題を考えることができるようになっていると思います。またそこから、多様な学習活動へつなげるきっかけになっていると思います。

○委員

社会科を学習する上で人権の取扱いも重要なポイントになるはずです。人権の取

扱いという点では私は、日本文教出版を推薦します。例えば、201 ページでは筑豊炭鉱で働き、産業の近代化を支えた人々の記録が記載されています。各時代で民衆のくらしにも焦点を当て生活の向上や文化の発展に取り組んだ先人の姿を取り入れていると感じました。

○教育長

人権という点では、育鵬社の教科書も特色がみられます。64 ページをご覧ください。「なでしこ日本史」というコラムがあり、それぞれの時代で活躍した女性に焦点を当てて紹介されているのが、工夫されていると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、社会科歴史分野においては、歴史的事象に関心を持ち、多面的・多角的に歴史的事象を考察し公正に判断する力を育むことが大切であるということが主な意見だったと思います。

もし、他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

日本文教出版 5名 挙手

○委員長

日本文教出版が5名挙手されていますので、採決の結果、社会科歴史分野は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、社会科公民分野の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会科公民分野の採択候補図書7社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。「やってみよう」を設け、グループワークで話し合い、考えを深められる工夫がなされています。また、

「確認」「えんぴつマーク」「ティーブレイク」「効率と公正マーク」などを隋所に設け、学習理解の手助けとなるよう視覚的にわかりやすい工夫がなされております。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。「多様性のなかで生きる」で、アパルトヘイト時代の白人専用バスの写真と解説が掲載されており、人権尊重への配慮がなされています。このような意見から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

次に清水書院でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色がございます。刑事裁判と民事裁判の違いを4コマ漫画で、裁判の流れを示すなど、生徒が理解できるよう工夫がなされております。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。その中でもコラム欄で具体的な事例を挙げ、人権問題を考えられるよう工夫がなされております。また、「トライアル公民」では、話し合い学習などにより生徒が主体的に学習し、課題を深められるよう配慮されています。このような意見から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。「人権思想のあゆみ」では年表や写真を使い、見やすくまとめられております。また、海賊対策などのタイムリーな国際関係の話題により、安全保障と国際貢献について興味をもって学習することができるよう工夫がなされております。このような意見から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

次に自由社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。「もっとしりたい」のコーナーでは、拉致問題について取り上げられ、現在の国際関係について時事問題から考えることができるよう配慮されております。

最後に育鵬社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がございます。「考えよう」のコラムでは、人は何のために働くのかを考えることができ、キャリア教育にもつながる記載がございます。

以上、社会科公民分野、7社について説明いたしました。

○委員長

それでは、委員の先生方、社会科公民分野の審議をお願いします。

○委員

それぞれの特徴はよくわかりましたが、選定委員会で主に、どんな点が議論の柱になっていたのか教えていただけないでしょうか。

○選定副委員長

社会科公民分野についてでございますが、子どもたちが社会の制度、法律、政治、経済等の仕組みを理解し、自分たちの生活とのつながりの中で、そのことを自分の中

でどのように捉えていく、あるいは自分の考えを持って社会に参画していく力を身に付けられるか、というような視点で議論が交わされました。意見においては、生徒の身近な題材をどのように扱っているのか、あるいは生徒が主体的に考え、発表するための工夫、配慮がどうなされているのか、という部分に意見が集中しました。

○委員

子どもたちにとって、政治や経済と言われてもどのようなものかとても難しいですよ。その点を意識するなら、日本文教出版がよいと思います。日本文教出版の130ページ、市場価格の学習ですが、旅行会社のパック旅行を例にあげ、同じ商品でも旅行代金がお正月と閑散期とでは2倍以上も違うことを示し、市場経済の仕組みについて、わかりやすく学習できるように工夫がなされていると思います。

○委員長

子どもたちが興味を持って学習できるという点では、私は、帝国書院もよいと思います。教科書の随所にクローズアップというコーナーが設けられ、わかりやすく問題提起を行っています。例えば、54ページ「投票する権利を守るために」では、点字投票が取り上げられています。また、140ページの「3Dプリンタで何ができる」では3Dプリンタでつくった人工骨について掲載されています。このような社会の諸課題に対して、写真やイラストを使って、授業の始めに子どもに考えさせ、学習課題についての興味や関心を高める工夫がなされています。

○教育長

興味・関心という点では東京書籍も工夫されていると思います。72ページ、73ページでは誰を市長に選ぶべきか模擬選挙について取り上げています。各候補者の主張を聞きながらそれぞれの案の利点と問題点を市民の立場から整理することで、政治を身近な問題としてとらえ、私たちの意見が政治にどのように反映されるかを考えられるような工夫がなされていると思います。

○委員

調査員が調べられた観点を見ながら教科書を見ていきましたが、やはり、人権的な配慮はとても大切だと思います。各社ともアイヌの人々に対する人権問題、沖縄関係等、人権問題について触れられていました。日本文教出版の50ページをご覧ください。私は、その中でも、障がい者理解の観点から教科書に実物の「点字」を掲載し、バリアフリーについて説明されている点が特徴的で良いと思いました。

○委員

観点は変わりますが、言語活動を充実し、思考力や判断力、表現力を育むことも重要であると思います。各社とも学習課題をテーマとしたディベートなど言語活動について掲載されていますが、その中でも東京書籍が一番充実していると思います。東京書籍の83ページに「公民にチャレンジ」というコラムがあります。ここではメディアリテラシーについて新聞社によって論じ方が違うことをグループで話し合いながら考えています。このようなコーナーが、20か所も掲載されており、個人やグ

ループで作業や活動を行えるようになっていきます。さらに、各章の終わりにも言語活動を通して学習の内容をまとめられるように工夫されています。このような活動を繰り返し行うことで、将来、子どもたちが自分の意見を持ち、社会に参画していける力を身に付けることができるのだと思います。

○委員

表現活動については、教育出版も充実していると思います。「言葉で伝えあおう」という特設ページが6カ所掲載されています。中でも114ページでは、まちづくりのアイデアを提言し、プレゼンテーションを行います。このような活動を取り入れることで、子どもたちの表現力を身に付け伸ばすことにつながると思います。

○委員長

活用力をつけるという意味では東京書籍もいいですね。124ページ、125ページをご覧ください。消費者の権利を学習するにあたり、身近な生活の場面をイラストで表しています。子どもたちの生活とつながりをもたすことで理解を助ける工夫があります。また、右下に探究活動や言語活動を示す「えんぴつマーク」があり、1時間の授業の中で基礎的な学習から発展的な学習まで、できるよう工夫されていると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、社会科公民分野においては、子どもたちにおいて最もつけたい力「活用力」を育むという点、また、政治や経済が生活の中で身近なものとして感じ、自ら追求活動し課題を解決していくことが大切であるということが主な意見だったと思います。

もし、他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

東京書籍 3名、日本文教出版 2名 挙手

○委員長

東京書籍が3名挙手されていますので、採決の結果、社会科公民分野は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、数学科の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

数学科の採択候補図書7社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。基礎的な内容から発展まで幅広い問題を用意し、実態に応じた学習を進めることができるよう配慮されています。また、課題を終えた生徒用にやや難度の高い「もっと練習」を設け、個人差に対応した指導がしやすいように工夫されています。以上の理由から、選定委員会で推薦されています。

次に大日本図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。「点字の仕組み」や「スロープの勾配」などを題材に取上げ、障がい者理解を進めることができるよう配慮されています。また、導入部分でその単元に関係する内容が他教科とからめて紹介され、数学の学習内容が他教科の学習に広がるよう工夫がなされています。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」「発展的な学習・補充的な学習」に特色があります。単元末の「クローズアップ」で、学習内容に関連する話題や読み物、数学史に関する教材を取り上げ、興味・関心を高める工夫がなされています。また、「発展的な学習・補充的な学習」の点では、「課題学習・自由研究」の項の内容が充実し、生徒の実態に応じて学習を進めることができるよう配慮されています。

次に教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色があります。「Let's Try」を設け、課題意識を持って学習を始めることができるように工夫がされています。また、1年の「小学算数のまとめ」で、小学校と中学校の学習内容の系統を示し、単元ごとに学習内容をまとめ、生徒が適宜振り返ることができるよう配慮されています。

次に啓林館でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。車いすバスケットボールや点字の題材を設定し、障がい者理解が深まるよう配慮されています。また、各章に「千思万考」を設定し、思考力を育む問題を扱い、班学習をするのに適した内容となるよう工夫されています。以上の理由から、選定委員会で推薦されています。

次に数研出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色がございます。例題に対する問い以外に反復問題を用意し、理解に課題が見られる場合のスマールステップとなるよう配慮されています。また、学習の最初に「出発前のクイックチャージ」を設定し、1年生では、小学校算数の学習内容が豊富に扱われ、既習事項の学び直しや振り返りができるよう工夫されています。

最後にもう1社、日本文教でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習・補充的な学習」に特徴がございま

す。思考力・判断力・表現力を養うことができるよう「説明しよう」や「話し合おう」というテーマを設定し、言語的活動を重視する工夫がされております。また、巻末にある「数学マイトライ」で、「算数をふりかえろう」「力をのぼそう」など、生徒の学習状況や興味・関心に応じて取り組むことができるよう配慮されております。以上の理由から、選定委員会で推薦されております。

以上、数学科の7社についての説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、数学科の審議をお願いします。

○委員

数学科の学習は、小学校からの積み上げが大切です。7社中4社は、「学ぶ前に」というページが設定してあり、中学校のスムーズな数学のスタートに配慮がされていると思います。特に、日本文教の「学ぶ前に」というページは見やすいと感じました。

○委員

わたしもこの点については、同じ感想を持ちました。また、数学科の学習は、一人ひとりの学力に差が現れがちな教科で、誰もが意欲を持って学習していくことが大切だと思います。その点から、私は、子どもたちが興味・関心をもって学習を進めていくという観点ですべての教科書を比べてみました。日本文教出版では、「章の扉」のコーナーで操作活動をともなった課題を提示し、生徒の興味・関心を高めてから学習が始まり、段階を踏んで学習を進め、最後には、生活への利用等のページが設定され、学習した内容が実生活につながる工夫がされているのが良いと思います。

○教育長

委員がおっしゃった、子どもたちの興味・関心を高めることは、数学を学ぶ上では大事なことだと思います。加えて、私は、子どもが理解しづらい内容を、いかに分かりやすく提示するかによって、確かな学力が身に付くという点も重要であると思います。その点においては、日本文教出版では、例えば1年生の10ページから始まる「正の数と負の数」の学習において、0を基準として考えさせることを重視し、初めて負の数の概念を学習する1年生にとって、非常に分かりやすく丁寧に説明しており、配慮がなされていると思います。

○委員長

私は、基礎基本のしっかりとした学力をつけるためには、細かな点での配慮が必要であると同時に、学習内容の程度や、導入からまとめに至るまでの過程が、藤井寺市の子どもたちの実態に合っているかを考えることが大切だと思います。その点では、日本文教出版は、分かりやすい導入から学習が始まり、基礎的な内容を細かなステップを踏んで学習が進められていると感じます。

○委員

少し観点は変わりますが、私は一人ひとりの学力の実態に応じた内容が取り扱われ

ているかという点で、各教科書を比べてみました。「発展的な学習・補足的な学習」という点では、啓林館が配慮がなされていると思います。例えば、1年生の134ページ「千思万考」というタイトルを付けたコーナーを設け、学んだことを活用して、思考力を育むことができるように工夫されています。また、3年生の207ページ以降の「力をつけよう」のコーナーでは、3年間のまとめが豊富に載せられていて、学び直しができるように配慮されています。

○委員長

たしかに啓林館は、どの学年にも「数学展望台」を設け、発展的・補足的な学習には工夫がされていると思います。この点では、優れていると思います。しかし、理解のしやすさ、学習の流れの滑らかさという点を私は重視したいと思い、その点では、日本文教出版が優れていると思います。同じく、1年生の52ページ以降をご覧ください。章の終わりには、「くり返し練習」「たしかめ」「とりくんでみよう」「生活への利用」と、自己評価をしながら学習のまとめがされているのが良いと思います。

○教育長

委員がおっしゃった、「発展的な学習・補足的な学習」が充実していることは、非常に重要なポイントだと思います。学習につまずきがみられる生徒には、基本的な学習を繰り返ししっかりと定着させること、一方、課題が早く終わられるような生徒には、加えて発展的な課題をあたえ、さらに思考力を伸ばすことが大切です。その点では、東京書籍は、例えば、2年生の38ページ・39ページにあるように、「もっと練習」という課題を設定し、そのページの下に解答を載せ、自分で挑戦できるようになっています。

○委員

基礎基本の力をつけることは大切ですが、やはり、「発展的な学習・補足的な学習」の観点も、重要だと思います。どの教科書も、その点において工夫がされていますが、私は、日本文教出版が特に配慮がされていると思います。たとえば、3年生の76ページ・77ページをごらんください。横の欄に「チャレンジ」という問題があり、「問い」が早く解けた生徒が難しい問題に取り組むことができるようになっています。このような「チャレンジ」はいたるところに設定されています。また、くり返し練習もいたるところに設定され、学習の定着に役立つと思います。また、1年生の巻末には、「算数をふりかえろう」、2年生の巻末には、「1年の復習」とこれまでの学習の内容を振り返り、スムーズに学習に取り組めるよう、非常に配慮されていると思います。私としては、日本文教出版の教科書が、藤井寺市の子どもたちの実態にふさわしいのではないかと思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきました。生徒が興味・関心を持って意欲的に学習に取り組むことについて、確かな学力を付けるための学習内容の程度や学習の流れについて、「発展的な学習・補足的な学習」についての意見が出ていました。私も、どの教科書も、配慮がなされていると思いましたが、ただ、藤井寺市の生徒にふさわしい教科書を採択するにあたって、数学科においては、一人ひとりに基礎基本を理解した確かな学力を身に付けること、そのために学習の導入からまとめまで、段階を踏んだ丁寧な学習の流れになっていることが、最も重要視されるというのが主な意見だったと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

日本文教出版 5名 挙手

○委員長

日本文教出版が5名挙手されていますので、採決の結果、数学科は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、理科の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

理科の採択候補図書5社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「組織・配列」に特色があります。その中でも、資料性が高く、ダイナミックな写真は、興味・関心を持って課題がつかみやすい配慮が十分なされています。また、大切な用語や要点を振り返り、基本的な技能が身に付くよう工夫され、学力が定着するように配慮されています。このような点から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされ、特に「内容の程度」「組織・配列」「発展的な学習・補足的な学習」に特色がみられます。その中でも、学習ごとに「問い」を設け、細やかに学習内容を振り返り、各単元末で復習をし、学習内容の定着が図ることができるよう十分工夫されております。また、子どもたちが学習した内容を自分の生活に生かし、また学習内容と社会とのつながりを考えることができるように、発展的な課題を各単元末に設け、活用力がつくよう工夫されております。このような点から、選定委員会は大日本図書を推薦してござい

す。

次に学校図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」「組織・配列」に特色がみられます。章末、単元末、学年末で、学習した内容を繰り返して復習できるようにし、知識・技能の定着を図ることができるよう配慮がなされています。

次に教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。レポートの書き方や器具の扱い方等を掲載し、基礎技能の定着を図ることができるよう工夫され、特に薬品の扱い方を詳しくわかりやすく掲載してあります。

最後にもう1社、啓林館でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習・補足的な学習」に特色があります。分冊「マイノート」により、基礎基本の知識と活用力がつくよう工夫がなされており、学習時にワークシートとして活用でき、学習したことをまとめ、学習内容の定着を図る工夫がなされています。さらに身近な自然や博物館等を取り上げ、地域で主体的に学習することができるよう工夫がなされています。このような点から、選定委員会は啓林館を推薦しております。

以上、理科5社についての説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、理科の審議をお願いします。

○委員

それぞれの特徴はよくわかりましたが、選定委員会で主に、どんな点が議論になっていたのか教えていただけないでしょうか。

○選定副委員長

選定委員会で議論になった点についてご報告申し上げます。子どもたちの発達段階を踏まえ、「特に1年生の理科については興味・関心、学習意欲という点において、生物分野から始まるのが望ましいのでは。」という配列に関する具体的な意見がございました。また、「科学の学習に対する興味・関心をどのように高めていくのか、その工夫、配慮について」「学習理解や学力の定着のための手立てや工夫について、さらに、安全に実験が行えるような配慮がどのようにされているか。」などの意見が議論の中心になりました。

○委員

理科では、学習に入る際の生徒の意欲関心を高めることが大切かと思えます。東京書籍では、学習の初めに科学的で話題性のある写真を取り入れ、興味・関心を高める工夫がなされています。1年生19ページ「植物の世界」の導入の部分ですが、大きな木の幹と人を対比させた写真が載っており、植物の成長のスケールの大きさから生命の力強さが伝わってきます。その点で学習への大きな期待が持てるような気がします。

○委員

学習意欲を高めることは重要ですが、確かな学力の定着を図る工夫も大切だと考えます。その点から観てみると、大日本図書は、細やかな工夫がみられます。1年生45ページをご覧ください。下の所に「問い」が設けられ、随所に基礎が押さえられるようになっています。さらに、49ページに章末問題、60ページに単元末の「まとめ」、力試しの「単元末問題」が設けられ、学習の節目ごとに細やかに、学習の定着を図られていると思います。

○委員

学力の定着でいうと、ワークシートや復習内容を学年ごとに別冊「マイノート」にまとめ、2冊に分けて分量を工夫している啓林館は、特徴的でよいと思います。学習内容や復習内容を豊富に充実させ、学力の定着のためのよい工夫だと思います。

○教育長

学力の定着のためには、まとめや振り返りを工夫することも大切ですが、毎時間の授業で、学習内容を確実に理解できるような手立てが「どのように工夫されているか」ということも大切だと思います。東京書籍の2年生の224ページを開けてください。「電流の性質」の学習の始めに、家で使う電気製品を取り上げ、電気料金を考える課題を設定し、日常生活から学習課題を捉えられるようにしています。また、232ページの学習の途中では、「流れる電流」と「抵抗」の関係を、滝と水流モデルで表現し、生徒が理解しやすい工夫になっています。さらに生徒への興味付けとして256ページに、ニュース等でも話題となっているリニアモーターのことを「どこでも科学」や「科学でGO」で取り上げ、科学と生活のつながり、未来への発展へとつなげています。

○委員

理科では、学習で計算を活用しないといけない場面がでてきます。大日本図書では、計算が苦手な生徒の手助けとなる工夫があり、よい工夫だな、と思っています。83ページをご覧ください。例題の横に、生徒がつまずきやすい「小数の割り算」を「算数では」というコーナーを設け説明しています。計算が必要な場面ですつまずいたときに、同じページで解決できるのは大変よい工夫だと思います。

○委員

理科は他教科と異なり、実験や観察から課題を追求していきます。実験の基礎技能をしっかりと身に付けていくことが重要です。この点から考えると啓林館も良いと思います。1年生の250ページから「サイエンス資料」というコーナーがあり、ICT活用、理科に必要な数学の計算方法が載っており、学習の手助けになると考えます。

○委員長

器具等の基礎操作に関することであれば、東京書籍もよいと思います。1年生15ページには「基礎操作」というコーナーが設けられ、顕微鏡の扱い方が掲載されています。操作手順がわかりやすく載っており、注意点も明確になっています。また1年生の巻末259ページと260ページには、ガラス器具、薬品の扱い方の注意も載

っており、安全にも配慮されていると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、理科においては、身の回りの自然現象に関心を持ち、課題を探究できる工夫、学習課題に関心を持たせ、学習内容の理解と学力の定着が図れるよう工夫されていることが大切である、というのが主な意見だったと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

東京書籍 3 名、大日本図書 2 名 挙手

○委員長

東京書籍が 3 名挙手されていますので、採決の結果、理科は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

会議の途中ですが、休憩といたします。

昼食休憩のため、委員会休会を宣する。

午前 12 時 07 分

委員会開会を宣して会議に入る。

午後 1 時

○委員長

午後の採択に入ります。

それでは、音楽科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

音楽科の採択候補図書 2 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず教育出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がございます。掲載している楽曲の豊かさや美しさを感じ取りながら、理解することができるよう、その楽曲のイメージや背景に近い写真を多く掲載し、豊かな音楽活動ができるよう工夫されております。また、国歌「君が代」は見開き2ページとし、歌詞・楽譜・解説が記載されております。このような点から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

次に教育芸術社でございますが、バランスよく配慮がなされており、「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がみられます。ワークシートやゲームの活用、話し合い活動等を取り入れ、豊かな音楽活動の充実が図ることができるよう工夫がなされております。また、写真や解説の量をできるだけ整理し、生徒の集中を妨げず音楽活動に取り組めるよう工夫されております。

以上、音楽科の2社についての説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、音楽科の審議をお願いします。

○委員

私は、教育出版が優れていると思います。先ほどの説明にもありましたように、教育出版では、楽曲の背景に情緒あふれる挿絵や写真を掲載し、生徒が音楽を豊かに感じながら、音楽活動ができるよう工夫されています。例えば、1年生の17ページでは、「群馬県、尾瀬や水芭蕉」など、のどかな日本の夏の風景を写真で掲載し、写真を通して、その曲が持っている四季や風土、背景を感じながら唱うことができます。とても大切な工夫だと思います。

○委員

私も、教育出版の挿絵や写真は素晴らしいと思います。そして、もう一つの観点から、生徒が日本の伝統音楽に興味・関心が持てる工夫も充実していると思います。例えば、2・3年上の34ページには歌舞伎が掲載されており、舞台上で役者が演じている様子が写真と解説で詳しく説明されており、さらに39ページでは、「歌舞伎を体験してみよう」で、表現活動に取り組めるようにしています。子どもたちは、このページを通して伝統音楽と出会い、興味・関心を持って鑑賞し、日本の伝統や地域を大切に作る心が養われるように思います。

○委員長

私は、逆に教育芸術社が優れていると思います。写真や解説の量が多ければ、かえって生徒の集中を妨げ、音楽活動に集中して取り組めないのではないかと思います。その点から考えますと、教育芸術社は写真や解説の量をできるだけ整理し、生徒の集中を妨げないよう工夫しています。

○委員

音楽というのは、楽譜だけでは読み取れない作者の思いや、楽曲が作られた背景があるのではないのでしょうか。特に、情緒豊かにしっかり鑑賞するためには、ただ耳だけで聴くのではなく、作られた時代背景や風土を、写真や説明から視覚的に理

解していくことも大切だと思います。教育出版では、例えば、1年生の48ページの「ブルダバ」をご覧ください。ブルダバ川の写真からは川の様子やその情景を知ることができ、より一層、作者の思いを感じ取ることができ、全学年で充実した鑑賞活動ができると思います。

○委員長

鑑賞活動の工夫では、教育芸術社では、音楽の苦手な生徒でも活動に主体的に参加できる工夫がなされています。例えば、1年生の29ページ、映画のテーマ曲「ジョーズ」の鑑賞では、鑑賞のポイントが示されており、「強弱や速度の変化によって、感じ方がどう変わるのか」を、ワークシートに記述できるようになっています。生徒が主体的な言語活動に取り組みながら、鑑賞できるように工夫されています。

○教育長

観点はかわりますが、国歌「君が代」については、2社ともに各学年において掲載されています。ここを比べてみますと、教育出版では見開き2ページを使い、歌詞・楽譜だけではなく、解説や写真を掲載し丁寧に扱われているように感じます。これからの国際社会の中では子どもたちにこういった見方で指導していくのが大切なことかと思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。音楽科においては、歌唱や演奏をする前に、その曲が持っている作者の思いや、風土、季節感に対するイメージを膨らませることが大切であるというのが主な意見だったと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

教育出版4名、教育芸術社1名 挙手

○委員長

教育出版が4名挙手されていますので、採決の結果、音楽科は、教育出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、美術の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

美術の採択候補図書3社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず開隆堂でございますが、バランス良く配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色があります。その中でも、共生に関する作品や、ユニバーサルデザインに関する作品などが掲載され、バリアフリーや人権尊重の観点において配慮がなされています。

次に光村図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「独自項目」に特色があります。特に「目標・内容の取扱い」ではそれぞれの単元学習内容に、わかりやすく目標が掲げられており、見通しをもって学習がすすめられるよう配慮されています。このような点から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

最後に日本文教出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色があります。その中でも、組織・配列では巻末に色を学ぶページを色彩学習の参考となるように配慮されています。このような意見から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。以上です。

○委員長

それでは、委員の先生方、美術の審議をお願いします。

○委員

材料や用具の取扱いについては、すべての教科書にも掲載されておりますが、私は日本文教出版の取扱い方が具体的でわかりやすいと思います。制作過程における技法や用具の扱いを学年に応じてわかりやすく示している点が良いと思います。また、用具の基礎的な使い方の説明があり、教科書を使いながら、材料や用具の扱いについて子ども自身で何度も反復しながら学ぶことができるのではないかと思います。この点において私は日本文教出版がよいと思います。

○教育長

私は、美術では、子どもが作品や活動の様子を見て学ぶだけでなく、触って学ぶことができれば、より興味を感じるのではないかと思います。例えば、日本文教出版の教科書には、2・3年生の上巻24ページで、和紙のような質の違った紙で製本されています。「墨が生み出す豊かな世界に」では当時の作品に近い材質の紙に触れることによって、子どもの感性が刺激され創作力を養うことができるように思います。

○委員

教科書の活用という点では、光村図書も工夫されていると思います。1年生の24ページには見開きで大きな作品を掲載し、美術の教科書を超え、美術書のような感じも受けます。また、日本伝統の模様など、身近にあるデザインについても、性質や特徴が説明され、鑑賞に配慮されていると思います。

○委員長

おっしゃる通り、開隆堂や光村図書の教科書を見ても、興味・関心をひかれるような作品が示してあり、見ているだけで楽しいです。

作品の掲載量は三冊構成の日本文教出版が多いようですね。見開きの日本画は迫力があります。美術文化について理解を深め、豊かな情操を養うことができるように思います。美術の教科書は、やはり、子どもが楽しみながら扱うという点も大事なポイントだと思います。

○委員

確かにどの出版社も甲乙つけがたい観はありますが、ただ、私は教科書の活用という点では、日本文教出版を推したいと思います。それは、2・3年下の教科書に取り上げられている題材の中に、デザインについて多く取り上げられているところです。デザインするところから創造性や探求心を養ってほしいと思います。造り出す喜びを学んで豊かな人間性をはぐくんでほしいと思います。

○委員

私は、光村図書の教科書を推したいと思います。どの教科書にもユニバーサルデザインの観点は掲載されていますが、日本の文化に多く触れ、大切にしているように感じます。特に、2・3年の62ページのアイヌ民族や沖縄の衣装のデザインに大きく触れているのは日本文化に配慮していると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、美術においては、創造することの楽しさを感じながら、造形の基礎的な資質を伸ばすというのが主な意見だったと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

光村図書 2名 日本文教出版 3名 挙手

○委員長

日本文教出版が3名挙手されていますので、採決の結果、美術は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、保健体育科の教科用図書採択を行います。
採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

保健体育科の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に、「目標・内容の取扱い」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。その中でも、「目標・内容の取扱い」の点では、導入部分に学習目標が書かれており、学習の見通しを持つことができるように配慮されております。また、「発展的な学習・補充的な学習」の点では、「保健体育クイズ」が各ページに設けられ、興味・関心に応じて学習を広げることができるよう工夫されております。

次に、大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に、「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、「人権の取扱い」の点では、生命の尊さを考える記述が多く取り上げられ、自他ともに尊重することの重要性に気づくよう配慮されております。また、「組織・配列」の点では、図・写真・挿し絵を適切に組み合わせ、理解しやすいように工夫されております。以上の理由から、選定委員会で推薦されております。

次に、大修館書店でございますが、各項目に配慮がなされており、特に、「人権の取扱い」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。その中でも、「人権の取扱い」の点では、男女が互いに尊重し、高めあい、対等な人間関係をつくることの大切さについて述べており、人物イラストの男女比が均等になるように配慮されております。また、「発展的な学習・補充的な学習」の点では、「Try・活用・Challenge」の項を設け、思考力・判断力を養うことができるよう配慮されております。

最後に、学研教育みらいでございますが、バランスよく配慮がなされており、特に、「人権の取扱い」「創意工夫」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。その中でも、「人権の取扱い」の点では、ユニバーサルデザイン・ユニバーサルスポーツの項を設け、障がい者理解を深められるよう配慮されております。また、「発展的な学習・補充的な学習」の点では、各章末に「探求しよう！」を設け、興味を持ちやすい課題を取り上げ、発展的に学習が進めることができるよう工夫されております。以上の理由から、選定委員会で推薦されております。

以上、保健体育科4社について説明させていただきました。

○委員長

それでは、委員の先生方、保健体育科の審議をお願いします。

○委員

私は、人権の取扱いの観点から4社を調べてみました。中でも、特徴的な内容としては、学研教育みらいは、125ページでユニバーサルデザインについて取り上げています。また168ページでは、障がい者理解が深まるように、誰もが得点や勝敗に同じように関わることができるようにルールなどが工夫されたユニバーサルスポ

ーツについて取り上げられ、工夫されています。また、生命という観点に重点をおいた記述や資料は、他の教科書にも多く見受けられますが、大日本図書については、50 ページから 55 ページにかけて「生命」という言葉をキーワードにして体の成長や異性の理解が深まるように配慮されており、「生命」という観点から、私は、大日本図書は工夫がされていると思います。

○委員

私は、それぞれの教科書に特徴的なところはないか調べてみました。その点では、学研は、99 ページでアレルギー症状について大きく扱っています。食物アレルギーをはじめ、さまざまなアレルギー症状をもつ子どもたちがいる現状から考えると、非常に興味深い内容ではないかと思います。

○委員

これは、特徴的な点ではないかもしれませんが、それぞれの教科書の各ページの下に、ミニコーナーを設けて、知識を広げたり深めたりできるように工夫がされています。なかでも、大日本図書は、「ミニ知識」と題して、学習した内容についてより詳しく示すことによって、子どもたちの関心が高まるように配慮されています。

○委員長

観点は変わりますが、私は、組織・配列の点から、どの教科書が学習の進め方が分かりやすいか、写真や図表が見やすいかを、すべての教科書の中で比べてみました。その点では、大日本図書が、学習する内容の表題や学習課題が明確に示され、大切な言葉を太字のゴシック体で表し、見やすく分かりやすいと思います。

○教育長

私も、大日本図書の資料が非常に見やすく分かりやすいと思います。4 社すべての教科書に掲載されています「熱中症」については、特に、大日本図書の 148 ページの「熱中症への対応と予防」については、症状や対応の方法が挿絵入りで詳しく示されていて、子どもたち自身が、自分の身を守ることができるように配慮されていると思います。

○委員

体育編の内容については、各教科書ともスポーツの多様性、効果と安全、文化としての意義について学習するようになっていきます。その中でも大日本図書は、運動やスポーツと、心や体の健康との関わりについて、生徒にとって抽象的な内容である、心の状態について、資料や写真を用いて分かりやすく学習が進められるように工夫されています。

○委員

スポーツの文化的意義についても、各教科書で取り扱っていますが、学習している子どもたちの年代だけでなく、誰もが、いつまでも趣味や目的に応じてスポーツに親しむという生涯スポーツの観点を強調している点で、大日本図書は配慮されていると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の生徒にふさわしい教科書を選採するにあたって、保健体育科においては、心や体の健康・生命について、また、スポーツが持つ意義について、理解を深め実生活に生かしていくことが大切であるというのが主な意見だったように思います。もし、他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

大日本図書 5名 挙手

○委員長

大日本図書が 5名挙手されていますので、採決の結果、保健体育科は、大日本図書株式会社を選採いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、技術分野の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

技術分野の採択候補図書 3社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、「目標・内容の取扱い」の点では、実習例に写真や図表を用いて、経験がない生徒にとって視覚的に理解しやすい内容となるよう配慮されております。また、各ページの下に注釈部分に、「ひとくち Q&A」を設け、生徒の興味・関心に応じて扱えるように工夫されております。このような点から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、教育図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。幼児、高齢者が使用する物を掲載し、年齢に関係なくユニバーサルデザインについて考えることができるよう工夫されております。

最後に、開隆堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。図表や写真を多く用い

ることにより、心身の発達段階に応じて理解を容易にする工夫がなされております。また、興味・関心を持ち、さらに知識を習得できるよう、各ページの下に「豆知識」が設けられております。このような点から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

以上、技術分野3社について説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、技術分野の審議をお願いします。

○委員

私は、学習内容の程度が子どもたちの実態にあっているか、また、理解しやすい組織・配列となっているかという観点から3社を比べてみました。東京書籍は、難しいものから簡単なものまで、実習題材を数多く掲載し、技能に応じて選択できるよう工夫されていると思います。

○委員長

その点でいうと、私は、開隆堂は、学習のまとめりごとに「ふり返り」、各章末に「ふり返ろう」「生活に生かそう」が設定され、自己評価・生活への応用ができるよう配慮されているところがいいと思いました。

○委員

私も、同じ観点で3社を調べてみました。実際の作業の際の写真の取扱いによって、子どもたちの理解は大きく違ってくると思います。その点では、東京書籍では56ページに、開隆堂では58ページに木材を切断する時の写真がのせられております。どちらも正確に切断するための姿勢や正しい目線等について分かりやすい写真であると思います。ただ、開隆堂の方が、他の作業的な場面においても、非常に分かりやすい写真や挿し絵を掲載しており、経験の少ない子どもたちにとっても、取り組もうとする意欲を引き出すのではないかと感じました。

○教育長

私は、作業の時の子どもたちの安全を確保する点から、作業場面の写真は非常に重要であると思います。その点では、開隆堂の教科書は、安全マークの入ったポイントを適切に示し、安全面における配慮がなされていると思います。

○委員

私も、写真や挿し絵の取扱いの点では、開隆堂がいいと思います。例えば、28ページをご覧ください。木材の特徴についての学習で、木目が非常に分かりやすく描かれており、また、必要な情報が整理され、見やすい点で、子どもたちも理解しやすいのではないかと思います。

○委員

子どもたちが理解しやすいという点では、情報セキュリティについての内容が一番分かりやすく扱われているのは、東京書籍だと思います。206ページをご覧ください。

さい。今の子どもたちにとって、非常に身近な問題である情報に関するセキュリティやモラルの問題、また、犯罪に巻き込まれないようにするための注意が挿し絵などを使って非常に丁寧に扱われていて、情報セキュリティに関するトラブルについて、子どもたちもしっかりと考えるのではないかと思います。

○教育長

観点は変わりますが、私は、製図を扱う部分を比べてみました。開隆堂の42ページをご覧ください。製作するのに必要な製図について、非常に丁寧にわかりやすく扱われており、子どもたちが理解しやすいように十分配慮されていると思います。

○委員

特徴的な点でいうと、東京書籍の巻末をごらんください。切り離しができる「防災手帳」があります。技術家庭科で学習したことが、そのまま実生活に生かされ、万が一の災害に備えることができると思います。何より、藤井寺市では、中学生を対象とした「ジュニア防災リーダー」も育成していることから、活用度は高く、有効な活用ができるのではないかと思います。

○委員長

開隆堂では、技術開発の点において、新しい内容も採り上げています。開隆堂の100ページをご覧ください。エネルギーの変換と効率の学習の中で、子どもたちにとって身近である自転車のライトに使われているハブ発電機を紹介し、興味・関心が高まる工夫がされているのは良いと思います。

○委員

開隆堂には、他にも工夫された特徴的なところがあると思います。各ページの右上には、道具の写真と名称が掲載されていますが、見ているだけで知らない道具も知ることができて役に立つと思いました。また、各ページの下に「豆知識」のコーナーがあり、最新の情報の他に日本の伝統的な技術に触れられている部分も多くあります。優れた日本の技術について考えることは、大きな意味があると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。生徒にふさわしい教科書を採択するにあたって、技術分野においては、経験の少ない子どもたちが、実際に製作する際に、いかに理解しやすい配列となっているか、また、課題の提示や説明が分かりやすいものとなっているかが大切であるというのが主な意見だったと思います。

もし、他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

東京書籍 1 名、開隆堂 4 名 挙手

○委員長

開隆堂が 4 名挙手されていますので、採決の結果、技術分野は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、家庭分野の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

家庭分野の採択候補図書 3 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習・補充的な学習」に特色がございます。教科書のサイズがやや大きめで、絵、文字の表示が見やすく、学習内容が分かりやすく整理され、理解しやすい工夫がなされております。また、調理実習例では、1 食分の配膳例を示し、巻末に生活用語の意味を設け、学習したことを主体的に、家庭で生かすことができるよう配慮されています。

次に教育図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がみられます。各章の最初の自立度チェック等で、生活経験に沿って生徒が考えられるようになっており、また目標・課題に興味・関心を持って話し合い活動、調べ活動等の学習ができるように配慮されております。さらに、消費者として日常的に考えられる場面を掲載し、トラブル等の対処法を生徒が課題意識を持って考えることができるよう、よく配慮されております。このような意見から、選定委員会は教育図書を推薦しております。

最後に開隆堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」「組織・配列」「創意工夫」に特色がみられます。男女共生、国際化社会、家族や地域社会の一員という観点から、他者と共によりよく生きようとする態度が育つよう、写真やイラストの配置が工夫されております。さらに、日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを鮮明な写真とともに数多く取り上げ、それらに誇りや愛着を持ち、継承できるように、よく配慮されております。このような意見から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

以上 家庭分野 3 社について説明いたしました。

○委員長

それでは、委員の先生方、家庭分野の審議をお願いします。

○委員

家庭分野の学習では、「いかに生徒の生活実態に沿った題材から、生徒が考え、話し合い、生活を見直していくか」が大切だと思います。教育図書では、生徒の生活経験に根ざした課題が多く取り上げられているように思います。教育図書の73ページをご覧ください。ここでは、「中学生の食事の摂り方」を取り上げています。「部活や受験などで、夕食が不規則になってしまう」今時の中学生の実態から、中学生の食生活について考えることができるようにしています。中学生の生活実態に沿った題材を取上げ、主体的に学習をするためには、とても大切なことだと思います。

○教育長

生活の実態から、自分の生活を見直すことはとても大切です。ただ、これからの社会の担い手として、身のまわりの生活等をよりよくするために、必要な知識や技能を確実に身に付けさせることも大変大事なことです。その点から教科書を見てみますと、開隆堂では、13ページに「ピアニストの辻井伸行さん」を取上げ、家族や周りの方々の支えについて掲載されており、障がい者理解について考えを深めることができます。自分の成長と周りの支えについて学習ができるだけでなく、様々な人の立場に立ち人権を考えることにつながるものと思います。

また巻頭の5ページをご覧ください。「共生社会に向かって」とあり、世代を越え、幼児から高齢者まで、また国籍の異なる人々、との共生を大切にしていることが、このページからよくわかります。生徒が、これからの社会を考えていく上で基盤となる、「すべての人にやさしい社会」というものを伝えようとしているようにも思います。

○委員

これからの社会や生活で大切な点で言いますと、学校教育では郷土を大切にすることを育てることも重要な観点だと思います。本市においても「わが郷土、藤井寺を誇りに思う」教育の推進をあげています。この点では、3社ともに工夫されています。教育図書では、巻頭に年中行事を見開きで示していますし、東京書籍でも88ページ、89ページに、日本各地の郷土料理が掲載されていますが、開隆堂が優れていると思います。

開隆堂の134ページをご覧ください。郷土料理が多く掲載されているだけでなく、お正月のおせち料理や、日本の季節に応じた和食のことについて具体的に掲載しています。他にも、149ページでは「日本の特徴ある住まい」について掲載し、「気候風土や住まいの外観、町並みのちがいがよくわかります。日本文化や先人から受け継いできた日本独特の工夫に対する関心にもつながり、伝統を大切に継承していく心を育てるには、開隆堂がよいと思います。

○委員長

委員の皆さんがみられた観点とは、別の観点で、学習課題や学習で注目すべき所をわかりやすくまとめているのは、どの教科書なのか見てみました。東京書籍も、教科書サイズが大きく、学習課題や話し合う場面がわかりやすく掲載されていますが、教育図書は、生徒が課題をしっかりとつかむことができ、資料もわかりやすいと思いました。教育図書の68ページをご覧ください。普段の生活を振り返って課題を捉えることができるよう、「自立度チェック」というコーナーを設けています。

また毎時間の学習で大切な用語を、「キーワードチェック」というコーナーで、わかりやすく1カ所にまとめてくれています。生徒が習ったことを振り返ったり、実践していくときの工夫がよくされていると思います。

○委員

先ほど「すべての人にやさしい社会」という意見がありましたが、最近社会問題となっている「児童虐待」についても、子どもたちに、身近な問題として捉え、正しい知識を持っておいてもらいたいと思っています。このことに関係する内容は、各社、発展的な内容として取り扱っています。中でも、開隆堂では56ページに、「子どもの健やかな成長のために」というタイトルで扱っています。内容が豊富で、子どもの権利、児童虐待やオレンジリボン活動などを取り上げています。これらのことを、中学生が正しく理解し、将来に活かしていくためには、この取扱いの豊富さは大切だと思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、家庭分野は、子どもたちの実生活に根付き、生かされていく大切な分野です。生徒が、学習課題を普段の生活につなげ、関心を持たせる工夫、学習したことから主体的に生活を見直し、実践し、より良い生活につなげていく工夫が大切であるというのが主な意見だったと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

教育図書2名、開隆堂3名 挙手

○委員長

開隆堂が3名挙手されていますので、採決の結果、家庭分野は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

続いて、英語科の教科用図書採択を行います。

採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

英語科の採択候補図書6社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスのよい配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。環境教育、平和学習等をテーマにした題材を取り上げて、国際理解を深め、生命を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性を育む内容になるよう配慮されています。4技能をバランスよく学習できるよう配置し、「Presentation」で自己表現力を、「Daily Scene」で日常会話力等を身に付けられるよう十分配慮されています。各Unitの本文の基本練習や「Daily Scene」「Presentation」において、電話での応答や将来の夢の交流など、ペアワークやグループワークなどを通して生徒が様々な学習形態に取り組めるようによく工夫されています。このような意見から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、開隆堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。環境教育、平和学習等をテーマにした題材を取り上げて、国際理解を深め、生命を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性を育む内容になるよう配慮されています。これまでの習得を図る「POWER-UP」や、4技能を関連付けながら活用し、統合的な学習を行う「My Project」を設ける等の配慮がなされています。各単元の「Try」「POWER-UP Speaking」「My Project」等においてペアワーク、グループワークなどの学習形態を重視する教材が用意されており、生徒同士での協同学習を支援するよう配慮されています。このような意見から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

次に、学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」に特色がございます。点字を取り扱っている場面では、教科書に凹凸をつけ、アルファベットの点字に直接触れることにより、障がい者理解を進めるよう配慮されています。生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、発達段階や実生活に即した題材が取り入れられ、興味・関心に配慮して題材を取り上げるようによく工夫されています。

次に、三省堂でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。障がい者理解、キャリア教育、平和教育、科学教育・環境教育、生命の尊重、正義と責任など、幅広い内容が取り扱われ豊かな人間性を育む内容になるよう配慮されています。

次に、教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」に特色がございます。他国のみならず、日本の文化や食べ物・名所など、自国の文化も大切に作る意識を育てるよう配慮されています。

最後に、光村図書ですが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」に特色がございます。国際社会の中の日本、他国から見た日本等、多くの日本文化が紹介されるように工夫されています。

以上、英語科6社についての説明とさせていただきます。

○委員長

それでは、委員の先生方、英語科の審議をお願いします。

○教育長

選定委員長の説明からそれぞれの教科書の特徴は分かりましたが、選定委員会で主にどんな点が議論されていたのか、参考のために聞かせていただけないでしょうか？

○選定副委員長

英語でございますが、選定委員会の中では「日常的な会話をどれだけ重視して扱われているか」あるいは「小学校外国語活動からの学習の流れが重視されているか。」「学習の目当て、ねらいが分かりやすく示されているか。」というような視点で議論がなされました。また、国の方向性を踏まえたところでは、「フォニックス」や「CAN-DO リスト」の扱いについても意見があり、これについては、ほとんどの教科書が何らかの形で掲載しています。そういった中での工夫や配慮に関わる意見として、掲載されているものを指導者がどのように扱っていくかが重要ではないか、というような意見が出されました。特に英語におきましては、語彙の扱いということで、語彙数や学年別での取り扱い等についても意見が出されました。

○教育長

ありがとうございました。

やはり、こんにちの英語教育において重視すべきは、その学習成果の実用性ではないでしょうか。そして、その成果は、やはり子どもたちの英語を使ったコミュニケーション能力として現れてくるのではないかと思います。そういう観点で見ていくと、例えば、開隆堂の1年生の30ページを見ると、「ベーシック ダイアログ」で一般動詞 like を取り扱うとき、ただ単に「I like music.」と1文入れるだけでなく、「I like music too. I play the guitar.」と会話練習ができる構成になっています。また、その際必要な単語を「WORD BOX」という形で示しており、ページ下の「TRY」で友達との対話練習ができるようになっています。さらに、ページ下には「発音」の説明があり、発音時の強弱や、リズム等、実際に発音するとき役に立つ内容となっていると思います。このような部分は他社と違い、開隆堂独自のものです。開隆堂が、英語を使ったコミュニケーション能力、つまり、会話を重視していることが分かります。

○委員

たしかに教育長のおっしゃるとおりで、開隆堂はよく考えられているなあと思いました。

ただ、英語の教科書には、「小学校外国語活動からの学習の流れが重視されているか。」という点も重要だと思います。中学校に進学した子どもたちの学習に差が出やすいのが、この「英語」ではないでしょうか。そういった意味では、小学校での学習の流れを大切にして、教材を取り扱っていくことが重要だと思います。例えば、東京書籍の1年生の4ページからは、「Hi, English」と題して、「1日のあいさつ」「身の周りのものを英語で言おう」「好きな食べ物」「英語の歌」等小学校での外国語活動を振り返る内容が丁寧に取り上げられています。また、Unit1・2は教室での先生と子どものやりとりを取り上げており、小学校での外国語活動の雰囲気大切にしていると思います。さらに、3年生の144ページの読み物「The Letter」と2年生の148ページの読み物「I'll Always Love You」は子どもたちが小学校で親

しんだ話であり、英語の苦手な子どもたちにも、興味・関心をもち、取り組みやすいように配慮されていると思います。

○委員

「小学校からの流れ」という点では開隆堂も大切にしていると感じました。例えば、1年生の6ページや16ページをご覧ください。「Let's Start」や「フォニックス」を掲載し、PROGRAM2・3では教室での先生と子どものやりとりを題材にしており、十分「小学校からの流れ」を大切にしていると感じました。また、1年生の31ページのように、アイコンを使って、この学習が次のどの学習につながっていくのかが、分かりやすく示されていて、何をねらいに学習をしているのかが分かりやすいと思います。

○委員

分かりやすさという点では、東京書籍は1年生の段階から丁寧に書かれているなと感じました。Be動詞や三単現などつまずきやすい部分、例えば、1年生の74ページの三人称単数現在形をごらんください。ここでも、視覚的に分かりやすい説明がなされており、主体的に学べる工夫がされ、つまずきを克服できる教科書であると感じました。

○教育長

「子どもたちのつまずき」という点では、生徒自身がどの程度学習達成できているかを確認することも大切です。ほとんどの教科書に「CAN-DOリスト」が何らかの形で示されているのですが、三省堂は各学年の巻末に「CAN-DOリスト」がついており、子どもたち自身で、学習到達度が分かり、到達度をもとに主体的に学習を進めることができる工夫がなされています。また、そのリスト項目が教科書のどの部分とリンクしているかも記載されており、効果的に使えるというふうに感じます。

○委員

教育出版では86ページからのLesson7で日本のアニメを題材に取上げており、子どもたちにとって、取り組みやすい内容であるとともに、世界の中で、日本の文化がどのように捉えられているのかに、興味をもつきっかけになると思います。

また、この単元で、会話がなるべく長く続けられるように、96ページには「相づち」の例が掲載されており、子どもたちの会話力の向上につながると思います。

○委員長

開隆堂は「My Project」で、実際に使える英語力を身に付けることができるように工夫していると思います。例えば、1年生の108ページでは、「知りたい情報を引き出そう」と題して、44ページの「My Project」で作成した、自己紹介のプレゼンを使って、英語で質問することに取り組めるようになっており、会話重視の構成になっていると感じました。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、英語においては、実用的な英語教育を行うこと、やはり英語で会話のできる生徒を育てることが、何よりも重要であるというのが、皆さんの意見だったと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

○委員

東京書籍 2 名、開隆堂 3 名 挙手

○委員長

開隆堂が 3 名挙手されていますので、採決の結果、英語科は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

長時間にわたるご審議ありがとうございました。平成 28 年度使用 中学校教科用図書採択は、市教育委員会事務局、府教育委員会、各学校等の積極的な協力のもと、また市民からも幅広い意見が届けられ、本日、採択の最終日を迎えることができました。

委員長といたしましては、教科書採択にあたっては、学習指導要領の基準性を踏まえ、生徒に、自ら学び考える力などの「生きる力」を育成し、基礎・基本の確実な習得を図るための工夫がなされていること。そして、本市の地域や子どもたちの実情に即し、主体的に学習する意欲が高められること。このような観点で教科書の採択を行い、本日無事終えることができました。

来年 4 月から、本日採択した教科書を用いて、本市の生徒がしっかり学習に励み、学力が向上していくことを期待いたします。

これをもちまして、平成 28 年度藤井寺市の生徒が使用する教科用図書の採択に関する会議のすべての日程を終了いたします。

ありがとうございました。

会議事項が終了したので、閉会を宣する。

午後 2 時 26 分